

ストラップは演奏を左右するか

演奏する時に楽器を気にするのは当然だけれど、ストラップに気を遣っているでしょうか。案外、楽器を買った折に付いてきたものを、そのまま使っている事が多いのではないのでしょうか。しかし、実は楽器やリードと同じくらいに大事な物なのです。

私は今までにいろいろなネックストラップ(以下NS)を使いましたが、材料が紐なのかテープなのか、首に掛けるか肩に掛けるかで演奏は変わります。フックを内向きにするか、外向きにするかだけでも違うものです。尻に敷くのもありますね。

では、良いストラップとは何でしょう。楽器が安定し、アンプシャーと指の位置が決め易く、身体の動きが制限されないといった所でしょうか。もちろん生来首が弱いなどの問題があれば、それも考慮しないとイケません。私が若い時はケースメーカーのGEWAの紐のタイプが好きでした。紐タイプの良い所は、身体を動かしても柔軟に対応する事です。ただ首に当たるベルトの良し悪しが大きく関わります。安いモデルだと分厚い材質の物が多く、首が辛いばかりで紐の良さが出ません。特に薄着になる夏場は最悪です。GEWAの物は革製なので体温で温まるとフィットし、それに長さを調整する部品が良く出来ていました。紐は細いけれど、丈夫で調整し易かったですね。しかし、これは日本では手に入らない物でした。

その後メーカー名を忘れてましたが、フランス製のテープタイプのものが気に入って使いました。紐の物より安定しますが、立って吹く時の体の動きに今ひとつ着いて来ませんでした。夏場薄着の時に首が楽な様に、首当てが幅広い物も使いました。シートストラップ(以下SS)は立って使えないのと、動きが制限されるので余り使いませんでした。

歳を取って来ると何時でも元気という訳に行かなくなったので、肩に掛ける様になりました。同時にバランスを使うので、今までとちょっと変えました。こうすると紐の物はあまり良くないので、テープ状のストラップが中心になります。布のテープがしっかりした物と幅が広く柔らかい物を使い分けています。これは楽器の重さに拠るのです。楽器が軽ければ後者の方が良いと思います。

先にSSは余り使わないと言いましたが、重い楽器では必要です。中国製のえらく重い製品(楽器としては悪くない)を持っていて、こればかりはネックストラップは無理ですねえ。不可能ではないんですが、次の日に腰と背中が痛いなの(笑)

ところで、私はシートストラップを使っている人達の使用方法に疑問があります。お尻に敷いてしまう人が多いのです。そうすると楽器が寝ますし、お尻に楽器が当たって動きが制限されます。

ウィリアム・ウォーターハウス(William Waterhouse)という名人がイギリスにいます。フ

ランセに曲を幾つも献呈され、世界中のファゴット吹きから尊敬されています。もちろん私もですが。この人は大変背が高く手足も長いので、普通のストラップではどうにもならず、L字型の特注ボーカル、それにチェロの様にエンドピンを使います。彼の写真(著作権があるので掲載しませんが、ネット上にもあると思います)を見ると、エンドピンは太股の中程を通る様に構えています。つまり、SSを使う時はこの角度にならないと意味が無いと思うのです。あなたはどうしていますか？太股に敷けば腰を浮かさなくとも、前後の位置も高さも簡単に変えられます。

最近の流行りはハーネスタイプ(HT)でしょう。私が始めて見たのは30年位前でしょうか。コンサートヘボウの名手だったブライアン・ポラード氏(イギリス人です)でした。氏は非常に太って見えたのですが、それがHTを使う理由の様な気がしました。太っているとNSでは腹が邪魔ですから。しかし、両肩で支えるので首は楽だし、腹も邪魔にならないでしょう。リュックザックを使う人が多いのと同じですね。しかし、こんな事がありました。

拙宅に或るリード会員が来られた時の事です。その人はアマチュアとしてはかなりの使い手で、楽器もヘッケルです。ここではAさんとしましょう。私は先ず最初に会員の楽器を拝借し、合う物を選んでから試奏してもらいます。いつもの様に音色音程とタンギングのし易さ、それにhigh-eまで出る事を確認し、7本ばかりの中から選んでももらいました。ところが、テナーのgから上辺りが出ないんです。Aさんにして無理に出している感じなので、驚きました。もう一度楽器を拝借して試すと何ともありません。しかし、Aさんが吹くと元の木阿弥。ほとんど困りました。

そこで吹いている様子を観察していると、妙な事に気が付きました。姿勢が悪いんです。酷い猫背になって横隔膜の動きが制限されているし、アンブシャーも悪くなっています。ハタと気が付きました。

「Aさん、ストラップを替えてみて下さい。」と言って、テープタイプのNSを肩に掛けてもらいました。あ〜ら不思議、今までの苦労は何だったのか。「あら、簡単に音が出ますね。」とAさん。そうなんです。HTは両肩に重さが掛かるため、痩せ気味のAさんは知らず知らずの裡におかしな姿勢になってしまったのです。長く使わないとこうした事は分かりません。店頭で試すくらいでは無理でしょう。レッスンに行くと、良い先生ならこうした事もチェックしてくれます。

この様にどの方式でも良し悪しは必ずあります。加えて先に述べた様に、バルンサーを使うかどうかでも変わります。ストラップさえ良ければ上手くなる訳ではありませんが、意外に大きい要素だと言えるでしょう。楽器と違ってそう高いものではないので、色々試して下さい。ただし、時間を掛けて。